

製品名: MIP-1 β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13909**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	16kDa

抗原情報

遺伝子名	CCL4 CCL4; LAG1; MIP1B; SCYA4; C-C motif chemokine 4; G-26 T-lymphocyte-secreted protein; HC21; Lymphocyte activation gene 1 protein; LAG-1; MIP-1-beta(1-69);Macrophage inflammatory protein 1-beta; MIP-1-beta; PAT 744; Protein H400; SIS-gamma; Small-inducible cytokine A4; T-cell activation protein 2; ACT-2
別名	
遺伝子 ID	388372.0
SwissProt ID	P13236
免疫原	抗血清はヒト CCL4 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

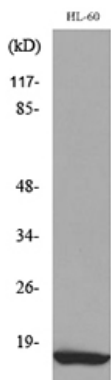
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、マイトジェン誘導性モノカインであり、CD8+ T細胞によって産生される主要な HIV 抑制因子の一つです。コードされているタンパク質は分泌され、ケモカインおよび炎症性機能を有します。[RefSeq 提供、2012年12月],代替産物: CCL4L1 遺伝子と CCL4L2 遺伝子是非コード領域が異なります。そのため、2つの遺伝子間で選択的スプライシングイベントが異なります。注意: 当初 (PubMed:9521068) は CCR8 のリガンドであると考えられていました。機能: CCR5 または CCR1 を発現する細胞の走化性を誘導するケモカイン。CCR5 を発現する末梢血単球における HIV 複製を阻害します。機能: 炎症性およびケモカイン特性を持つモノカイン。CCR5 に結合します。CD8+ T細胞によって産生される主要な HIV 抑制因子の一つです。組み換え MIP-1-beta は、HIV-1、HIV-2、およびサル免疫不全ウイルス (SIV) の様々な株に対して用量依存的な阻害作用を示す。処理後の MIP-1-beta(3-69)は、ケモカイン受容体 CCR5 の表面発現をダウンモジュレーションし、CCR5 を介した T細胞への HIV-1 の侵入を阻害する能力を保持している。MIP-1-beta(3-69)は、CCR1 および CCR2 アイソフォーム B のリガンドでもある。誘導: ミトゲンによる。オンライン情報: マクロファージ炎症性タンパク質の侵入,多型: CC4L1 遺伝子のコピー数は個人によって異なる。ほとんどの個体は二倍体ゲノム中に 1~6 個のコピーを持つ。PTM:N 末端処理型 MIP-1-beta(3-69)は、末梢血リンパ球から分泌された後、タンパク質分解によって生成される。類似性: インタークリン β (ケモカイン CC) ファミリーに属する。サブユニット: MIP-1-alpha(4-69)と MIP-1-beta(3-69)のホモ二量体およびヘテロ二量体。サブユニット: CCR5 と相互作用する。組織特異性: B細胞で検出される。、

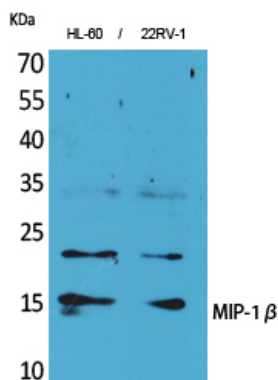
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路

画像データ



CCL4 抗体を使用した HL-60 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



MIP-1 β ポリクローナル抗体を用いた HL-60、22RV-1 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。

